

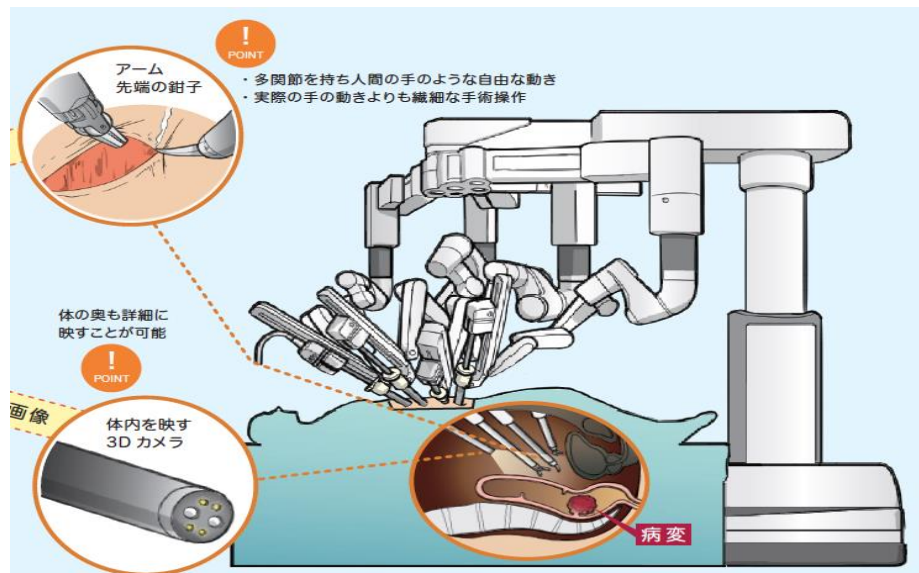
「ロボット支援下大腸手術について (第2報)」

川崎医科大学総合医療センター

総合外科 浦上 淳

当院では2018年よりダヴィンチ Xi システムを用いたロボット支援下直腸切除術を導入し、2022年より結腸癌に対する結腸手術もおこなっています。現在までに250例以上に施行してきました。ダヴィンチ手術では、3Dカメラで立体的な体内の画像を得られ、狭小な患部を拡大して見ることができます。細かな血管や神経も明瞭に認識できるため、出血が少なく、細かな神経温存も可能です。術者はコンソールの中で、拡大された鮮明な3D画像を見ながらコントロールハンドルで鉗子操作を行います。手術器具の先端は手指のように自由に曲げることが可能で、手振れも補正され、精密な手術操作が可能です。従来の開腹や腹腔鏡手術と比べてより繊細で精密な手術が可能です。このような繊細な手術を行うことにより大腸癌の根治性、肛門・排尿・性機能などの機能温存が可能です。また結腸癌でのダヴィンチ手術の大きな利点は、今までの腹腔鏡手術では小開腹創から腸管を体外に出して吻合操作を行っていたのですが、ダヴィンチ手術では体外ではなく腹腔内で吻合操作（体腔内吻合）を行うことができるようになった点です。しかし、ダヴィンチ手術は触覚がなく、ポートの位置による可動制限のために、大きな腫瘍や広範な癒着がある場合には従来の開腹手術の方が有効な場合もあり、全例が可能というわけではありません。

現在行われている腹部手術は、近い将来、さらにロボット手術に置き換わるものと推測されています。課題として価格や保守点検料、消耗品の材料費などのコストの問題がありますが、なるべく必要最小限の器材で行う努力をしています。ダヴィンチだけではなくHinotoriやHugoといった他社の手術支援ロボットも登場しています。今後もますますロボット支援手術は発展していくと期待されています。大腸癌症例がございましたら、可能な限りダヴィンチ手術で対応いたしますので、まずご相談ください。



セミナーのご案内

急性期病院として地域住民に安心を提供できる医療連携の構築を目指し、病診連携・病病連携の充実を図ることを目的として下記を開催いたします。
奮ってご参加をお願いいたします。

令和7年度 第4回 Kawasaki 連携フォーラム Webセミナー

日時：令和7年10月8日（水）19:00～20:00（入室18:30～）

方法：オンライン（Zoom）

テーマ：「食道裂孔ヘルニアの診断と治療」

講師：川崎医科大学総合医療センター 外科部長 繁光 薫

対象：医師・医療従事者

参加費：無料（岡山県医師会生涯教育単位1.0申請中）

申込方法：氏名・施設名・職種・医師登録番号（医師のみ）・住所・電話番号を記入の上、地域医療連携室にメール（renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp）でお申し込みください。

↑
ハイフン

令和7年度 第4回せとうち臨床・ベストプラクティス・ミーティング Webセミナー

日時：令和7年11月8日（土）14:00～15:30（入室13:30～）

方法：オンライン（Zoom）

テーマ：感染対策の基本

講師：川崎医科大学総合医療センター 感染管理認定看護師 小西 和美

対象：医療・介護・福祉施設の専門職（定員50名）

参加費：無料（岡山県医師会生涯教育単位1.0申請中）

申込方法：氏名・施設名・職種・医師登録番号（医師のみ）・住所・電話番号を記入の上、地域医療連携室にメール（renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp）でお申し込みください。

↑
ハイフン

ホットラインのご案内

☎ 脳卒中ホットライン ☎

- 24時間365日対応いたします。
- 脳卒中専門医師に直通電話でコンサル
- 「お断りゼロ」を目指します。
- 脳血管疾患の診療依頼の他のご相談も含めてお気軽にご連絡ください。



☎ 循環器ホットライン ☎

- 緊急の循環器疾患に関するお問合せ・ご紹介時に専門医師が直通電話で対応します。



病院理念

- 1.医療は患者のためにある
- 2.すべての患者に対する深い人間愛を持つ
- 3.24時間いつでも診療を行う
- 4.先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
- 5.地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
患者診療支援センター 地域医療連携室

〒700-8505 岡山市北区中山下二丁目6番1号

TEL 086-225-2133（直通）

FAX 086-221-1101

E-mail shien@hp.kawasaki-m.ac.jp